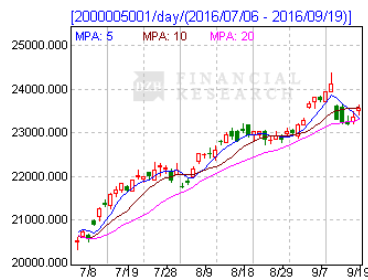


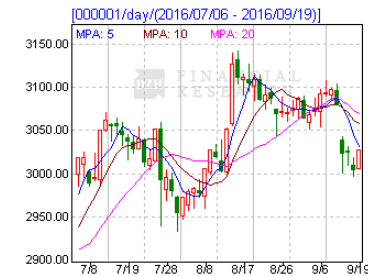


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	15年末株価
NYダウ	18,120.17	-3.63	-0.02	-1.12	3.99	17,425.03
NASDAQ	5,235.03	-9.54	-0.18	0.44	4.55	5,007.41
日経225	16,519.29	114.28	0.70	-2.63	-13.21	19,033.71
上海総合	3,026.05	23.20	0.77	-2.26	-14.50	3,539.18
滬深300 (CSI300)	3,263.12	24.39	0.75	-2.29	-12.54	3,731.01
ハンセン	23,550.45	214.86	0.92	-2.28	7.47	21,914.40
H株	9,747.75	152.02	1.58	-3.08	0.90	9,661.03

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は3.2%安と大幅反落、上海総合指数は2.5%安

香港市場は中秋節翌日の休場があり4日間の取引。ハンセン指数は4日間で3.2%安と3週ぶりに大幅反落した。前週までの上昇で利益確定売りが出やすい中、FRB高官のタカ派発言を受けて9月の利上げが意識された。ハンセン指数は14日まで3日続落と軟調に推移。15日は反発したものの、休場のため中国からの資金流入が止まり、上値を迫る動きは限られた。本土市場は中秋節の連休で3日間の取引。上海総合指数は3日間で2.5%安と反落した。景気の先行き懸念はやや後退したもの、持ち高調整の売りが広がった。

今週の展望:香港市場は神経質な展開か、今後の米利上げペースが焦点に

香港市場は神経質な展開か。20-21日の米FOMCの結果とその後の利上げペースが焦点となる。今回の会合で利上げが見送られたとしても、年内利上げが意識されれば相場の重しとなる可能性がある。一方で「滬港通」を通じた本土からの資金流入が続いている点は明るい材料。仮に短期調整があっても割安感が強まれば相場の下支え要因となりそう。本土市場はもみ合いの展開が見込まれる。上海総合指数は3000ポイントで底堅さをみせているが、買い上がる材料も乏しい。過熱傾向にある不動産市場は気掛かり材料。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 百麗国際(01880)	5.45	5.21
2 銀河娛樂(00027)	29.90	1.53
3 中国人寿保險(02628)	21.50	0.47
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
▼値下がり	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 招商局港口(00144)	21.90	-7.01
2 中国蒙牛乳業(02319)	14.30	-6.29
3 中国中信(00267)	11.70	-5.95
4 中銀香港(02388)	27.65	-5.79
5 ベトフヤイ(00857)	4.99	-4.41
6 中国海外発展(00688)	26.25	-4.37
7 シベック(00386)	5.33	-4.31
8 恒隆地産(00101)	18.28	-4.29
9 華潤置地(01109)	22.55	-4.25
10 CNOOC(00883)	9.29	-4.13

▼今週の主なイベント

- 9月20日(火)
- 【米国】FOMC(21日まで)
- 【日本】日銀金融政策決定会合(21日まで)
- 9月22日(木)
- 【欧州】ドラギ ECB 総裁講演
- 【米国】中古住宅販売件数(8月)

▼今週の期待材料

- ◆連休明けで「滬港通」の取引再開、19日の香港株への純流入額は55億元と本土からの資金流入続く
- ◆香港の労働市場が安定した水準を維持、6-8月期の失業率は3.4%と1-3月期から6期連続で横ばい
- ◆先週発表された中国の8月の経済指標は軒並み改善、景気の先行き懸念がやや後退

▼今週の懸念材料

- ◆20-21日に米FOMC、利上げ見送りでもイエレンFRB議長が利上げに前向きな姿勢を示せば相場の重しに
- ◆8月の中国の新築住宅価格は70都市のうち64都市で上昇、杭州で新たに不動産購入規制を導入
- ◆本土市場の売買代金が低迷、連休明け19日の売買代金は1カ月半ぶりの低水準に

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ ワーフ (00004) : 大型商業施設「海港城」の中秋節期間中の来客数が1桁増を確保
- ☆ 中信銀行 (00998) : 親会社の中国中信が8月3日以降に1億4200万株を追加取得
- ☆ 碧桂園 (02007) : 不動産販売額が初めて2000億元を突破、通期目標の9割達成
- ☆ 中国人民保険 (01339) : 子会社3社の1-8月の保険料収入が16%増加
- ☆ フェニックス・サテライト (02008) : 香港で無料の地上デジタルTV放送免許を申請
- ☆ 中国人民財産保険 (02328) : 1-8月の保険料収入が10%増加、8月単月では11%増
- ☆ 中国高速伝動 (00658) : 豊盛控股が47%のプレミアム水準でTOBを提案
- ★ チャイナ・ユニコム (00762) : 8月の4G加入純増数は501.4万件、前月比7.5%減
- ★ 玖龍紙業 (02689) : 21日に6月本決算を発表、市場予想は14%減益
- ★ 厦門国際港務 (03378) : 台風で倉庫や貨物に被害、具体的な被害状況は調査中

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。